

# 図書館へ行こう

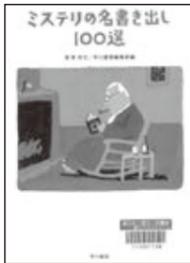
—暮らしのなかに図書館を—

## お気に入りの推理小説を見つけよう

### ミステリの名書き出し100選

早川書房

推理小説の冒頭の一節を読んで物語の世界に引き込まれ、ページをめくる手が止まらず、最後まで一気に読んでしまった。そんな経験はありませんか。本書では、そのような魅力的な推理小説の書き出しが100冊分も紹介されています。後に続く物語を読んでみたいと思ふ一節を見つけることができれば、その本を手にとってみてください。



開館時間 10:00~18:00  
 ■愛知川図書館 (☎0749-42-4114 FAX0749-42-8484)  
 休館日 月・火・祝日・月末水曜日  
 ■秦荘図書館 (☎0749-37-4345 FAX0749-37-4309)  
 休館日 木・金・祝日・第1水曜日  
 ホームページアドレス  
<https://www.town.aisho.shiga.jp/toshokan/index.html>

いよいよ夏も本番ですね。ゆっくり涼みながら過ごすおうち時間に、推理小説はいかがでしょうか。今回はお気に入りの一冊に出会うための本を紹介します。

### 私が愛した名探偵

朝日新聞社

推理小説には名探偵の存在が欠かせません。総勢87名もの筆者がそれぞれ愛する名探偵に関して、なぜ好きになったのか、魅力はどこにあるのか、などについて語っています。小説だけでなく、漫画やアニメ、ドラマに登場する名探偵も紹介されています。お気に入りの名探偵を探してみてください。



### 有栖川有栖の鉄道ミステリー旅

有栖川 有栖 著 山と溪谷社

「鉄道とミステリーの相性がいい」と、ミステリー作家の有栖川有栖さんは述べています。確かに鉄道を舞台にした推理小説はたくさんありますよね。「列車に乗って旅するのが好きだ」という有栖川さんが、自身の鉄道旅行の様子や、推理小説の舞台となった鉄道、鉄道ミステリーの面白さについて語っています。



### シークレット 綾辻行人ミステリー対談集in京都

綾辻 行人 ほか 著 光文社

ミステリー作家の執筆時のこだわり、裏話、作品への思いなど、彼らの創作の「秘密」について知りたいと思ったことはありませんか？10名の作家のそうした「秘密」が、ミステリー作家の綾辻行人さんとの対談形式で明らかにされています。「秘密」を知れば、小説を読むのが今までよりもさらに面白く感じられるようになるのではないのでしょうか。



## 図書館からのお知らせ

### 古文書をよむ会

日時 7月8日(金) 14:00~15:00  
 7月17日(日) 10:30~11:30  
 場所 愛知川図書館  
 対象 どなたでも参加いただけます

### おひざでだっこのおはなし会

日時 7月10日(日) 1回目 11:00~11:15  
 2回目 11:30~11:45  
 場所 愛知川図書館  
 対象 3歳くらいまでのお子さんとご家族  
 (町内在住または図書館貸出カードをお持ちの方のご家族)  
 ※申し込みが必要です(各回先着3組)。  
 申し込みは愛知川図書館までお願いします。

### あたまいきいき音読教室

日時 7月19日(火) 1回目 10:30~11:15  
 2回目 13:30~14:15  
 場所 秦荘図書館  
 対象 町内にお住まいの方、  
 もしくは図書館の貸出カードをお持ちの方  
 ※申し込みが必要です。申し込みは秦荘図書館までお願いします。

### オーダーメイドおはなしかい

場所 秦荘図書館  
 お子さんに合わせたおはなしのプログラムを用意します。  
 開催日時と詳細は、秦荘図書館へお問い合わせください。  
 休止中の各種行事は予告なく再開することがあります。最新情報は図書館ホームページや電話等で確認のうえ、ご参加いただけますようお願いします。

愛荘町は読書のまち「まちじゅう読書の宣言」

## 壺中雑記(19) — 歴史文化博物館から —

### 毛入堂遺跡 — 謎多き集落遺跡 —

愛荘町には数多くの集落遺跡が存在します。金属加工場や住居跡などの遺跡の性格は、遺構や遺物によって判明することがあります。しかし、出土した遺構や遺物がかみ合わずどのような遺跡なのか分かりづらい集落遺跡も存在します。そのような遺跡である毛入堂遺跡について紹介します。

### 毛入堂遺跡とは

毛入堂遺跡は蚊野の小字毛入堂に所在する、古墳時代後半から中世まで存続していた集落跡です。宇曾川の左岸に位置し、宇曾川によって形成された扇状地と、斧磨・岩倉から続く扇状地の交叉点付近にあたる湧水地帯に立地します。遺跡の規模は、直径約300mの約70000㎡の円形だと推定されています。南西には軽野塔ノ塚廃寺、狩野遺跡があり、北には東出南遺跡、南には軽野正境遺跡が存在します。

この一帯は、愛知郡蚊野郷であり、東大寺の所領となっています。

また、蚊野付近は愛知郡を本拠地とした愛智秦氏と肩をならべる蚊野氏の本拠地と考えられています。

### 遺構について

1980年に行われた発掘調査では、複数の掘立柱建物跡が検出されました。一部は古墳時代後期の倉庫の建物の可能性が指摘されています。そのほか、南北に流れていたとみられる河川跡が見つっています。この河川は鎌倉時代頃にはある程度の流れを持っていたと考えられています。その川跡の西域から古墳時代後期から奈良時代の集落遺構群、東域から鎌倉時代以降の集落を想わせる遺構群が見つかっています。

1984年の発掘調査でも川跡が見つかっています。飛鳥時代頃の遺物が出土しています。この川はほ場整備以前の旧地形図にその痕跡が認められており、規模が小規模になりながらも近年まで存在していたことがわかります。

### 出土品について

出土遺物は須恵器、土師器、瓦片、用途不明木製品などがあります。そのほとんどが遺構から出土したものではありません。瓦片は奈良時代頃の遺構から出土しており、近くの軽野遺跡・軽野塔ノ塚廃寺との関係を指摘する材料となっています。

毛入堂遺跡出土の遺物の中には石仏があります。

倒立状態で包含層から出土したため、年代は定かではありません。この石仏は花崗岩製の板碑で、頭部の髪形及び手先の印相が上品上生印に見えることから、阿弥陀仏だと考えられています。



▲出土土器



▲石仏

毛入堂遺跡は河川跡や石仏といった特徴的な遺構や遺物が出土していますが、その性格は謎が多く残る遺跡です。今後も様々な調査が期待される遺跡といえます。

歴史文化博物館 学芸員

山本 剛史